

輝く人・町  
夢と未来へ挑戦するまち



雑とべに花の里  
山形県河北町

第8次河北町総合計画  
後期基本計画

# 河北町民憲章



私たちは 最上川にはぐくまれ  
べに花と米で栄えた河北町民です。

- 1 歴史と伝統を尊び  
文化のまちをつくります
- 1 きれいな水と緑豊かな  
美しいまちをつくります
- 1 心とからだをきたえ  
明るいまちをつくります
- 1 きまりを守り  
住みよいまちをつくります
- 1 働くことに誇りをもち  
生き生きとしたまちをつくります

「輝く人・町

夢と未来へ挑戦するまち」にむけて

河北町長 **森谷 俊雄**



本町では、令和3年3月の「第8次河北町総合計画」の前期5カ年基本計画に基づき、まちづくりを進めてまいりました。この間、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの推進や、小中学校の給食費完全無償化、高校生までの医療費完全無料化をはじめとしたオールかほくで応援する子育て支援、児童動物園のリノベーションによる賑わい創出、産学官連携を通じた谷地高支援など、特色あるまちづくりをソフト、ハードの両面から進めてまいりました。

計画策定から5年が経過し、少子高齢化の進展や人口減少の加速による人手不足、エネルギー・生産資材などの高騰、気候変動に伴う災害の頻発化・激甚化、デジタルの活用による生産性・利便性の向上など、社会・経済のあらゆる分野で大きく変化しています。

これらの変化を見据え、本町の資源を最大限に活かしながら持続的に発展できるまちづくりを目指すため、令和8年度を初年度とする5カ年の後期基本計画を策定しました。この計画により、町の将来像とする「輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち」の精神を引き継ぎながら、「つながりを生む住みよい町」「みんなで支えあう安全・安心な町」「地域とともに健やかに暮らせる町」「新たな魅力を発信しにぎわいのある町」「ふるさとに学び次代につなぐ町」の5本の基本目標を推進してまいります。

特に、将来のまちづくりとして「住むならかほく、安全・安心の基盤づくり」、「産業振興と農商工観光連携」、「次世代につなぐ支援・将来への投資」を柱に、交通ネットワークの再編や関係人口の創出・拡大、担い手の確保と育成、小中一貫型小学校・中学校の段階的整備などを重点取組施策として掲げ、その実現に向けて取り組んでまいり所存でありますので、町民皆さまのご理解とご協力、そしてまちづくりへの参加と参画を切にお願いしたく存じます。

最後に、本計画を策定するにあたって貴重なご意見とご提案を寄せていただきましたまちづくり町民会議の皆さまや町民の方々、慎重審議をいただきました町振興審議会ならびに町議会の皆さま方に対し、深く感謝申しあげあいさついたします。

答申のことば

河北町振興審議会会長

## 宇佐美 克巳



令和3年3月に策定された第8次河北町総合計画では、町の将来像を「輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち」とし、令和12年度を目標年度とした10か年の計画としています。計画策定から5年を経過した今、少子高齢化や人口減少の加速、大規模自然災害や鳥獣被害の頻発、長引く物価高騰など、私達を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。さらに、山形県立河北病院の移転や小学校の統合といった新たな行政課題が浮上しており、持続可能なまちづくりをいかに実現していくかが問い直されています。

本審議会は、令和6年10月に令和8年度から令和12年度までの後期基本計画の策定について諮問を受け、前期5か年の成果を検証しつつ、多方面から活発な審議を進めてまいりました。限られた財源と人材という厳しい財政状況の中で、影響の大きい課題を絞り込み、優先的に取り組む必要がある施策を新たに「重点取組施策」として設定しました。

この後期基本計画を推進していくためには、町民の皆さまからご理解、ご協力が大きな原動力となります。町民の皆さまをはじめとする多様な主体と行政が官民一体となり、相互の信頼関係を強化しながら計画を実現していくことが、持続可能な発展の鍵になると確信しています。

最後に後期基本計画の作成に際し、貴重なご助言を賜りましたまちづくり町民会議の皆さま、振興審議会の皆さま、そして事務局のご労苦に心よりお礼申し上げます。本計画が着実に推進され、町民一人一人が希望を持って挑戦し、安全・安心に暮らすことができるまちの実現を心より願い、答申のことばといたします。

# 目次

## I はじめに

第1章	計画策定の趣旨	1
第2章	計画の位置づけと役割	1
第3章	計画の構成と期間	2
第1節	計画の構成	2
第2節	計画の期間	2
第3節	計画の進捗管理	3
第4章	計画策定の背景と課題、基本的な考え方	4
第1節	町を取り巻く社会情勢	4
第2節	まちづくりの課題	4
第3節	重点取り組み施策の設定	7

## II 後期基本計画

第1章	つながりを生む住みよい町	9
第1節	立地条件を活かしたまちづくり	9
1	交通ネットワークの充実	9
2	生活・情報インフラの充実	10
3	計画的な土地利用	11
第2節	災害に強い快適なまちづくり	13
1	災害に強く、憩いと潤いある環境形成	13
2	未来につなぐ環境保全	14
第3節	若者が選ぶまちづくり	16
1	関係人口の創出・拡大	16
2	若者の定住促進と移住支援	17
3	住み続けられるまちづくりと居住環境の整備・充実	17

## 第2章 みんなで支えあう安全・安心な町……………19

- 第1節 参加と連携による安全・安心な暮らし……………19
  - 1 災害に備えた防災力の強化……………19
  - 2 安心して暮らせるコミュニティづくり……………20
- 第2節 町民総参加によるまちづくり……………22
  - 1 雛とべに花の里づくり……………22
  - 2 町民主体のまちづくり……………23
  - 3 地域間交流・国際交流の推進……………24
- 第3節 社会の変化に対応できる行財政運営……………26
  - 1 町民の期待に応えられる行政改革……………26
  - 2 持続可能な財政運営の推進……………27
  - 3 行政におけるDXの推進……………28

## 第3章 地域とともに健やかに暮らせる町……………30

- 第1節 オールかほくで応援する子育て支援……………30
  - 1 結婚・出産・子育てまでの切れ目ない支援……………30
  - 2 子育て環境の整備……………31
- 第2節 互いを尊重し合う福祉のまちづくり……………33
  - 1 地域社会を基盤とした福祉体制づくり……………33
  - 2 いきがいと喜びを持って暮らせる高齢者支援……………33
  - 3 一人一人に寄り添った福祉サービス……………35
- 第3節 健康に暮らせる保健医療環境の確保……………37
  - 1 保健体制、地域医療の充実……………37
  - 2 保険事業の推進と健全化……………38

## 第4章 新たな魅力を発信しにぎわいのある町……………40

- 第1節 次代につなぐ農林水産業……………40
  - 1 農林水産業の所得と収益性の向上……………40
  - 2 担い手・新規就農者の育成、経営体・経営組織の強化……………43

第2節	やる気で稼ぐ仕事おこし	45
1	企業の成長と発展	45
2	商業の振興と中心市街地のにぎわいづくり	46
3	若者の起業支援	47
第3節	地域の宝を活用した発信	48
1	観光資源の発掘・整備と発信	48
2	広域連携による観光資源の整備	49
<b>第5章</b>	<b>ふるさとに学び次代につなぐ町</b>	<b>51</b>
第1節	家庭・地域と連携した学校教育	51
1	地域とともに育む学校教育	51
2	特色と魅力ある高校教育への支援	53
3	安全でおいしい学校給食	54
第2節	地域に根ざした生涯学習	55
1	多様な生涯学習の振興	55
2	活力ある生涯スポーツ	56
第3節	歴史と文化の継承	58
1	芸術文化の振興と発信	58
2	多様な伝統文化の継承	58
<b>資料</b>		
	河北町振興審議会委員名簿	61
	第8次河北町総合計画後期基本計画策定の経過	62
	第8次河北町総合計画後期基本計画策定体制	65
	第8次河北町総合計画後期基本計画策定 まちづくり町民会議委員名簿	66
	第8次河北町総合計画後期基本計画策定事務局体制	67
	数値目標一覧	70
	SDGsと各施策の関連性	73

# I はじめに

# I はじめに

## 第1章 計画策定の趣旨

河北町は令和3年3月に、「雛とべに花の里づくり」の理念を継承し、「輝く人・町 夢と未来へ挑戦するまち」を町の将来像として、令和12年度を目標年度とする「第8次河北町総合計画」を策定し、その実現に向けた基本計画を定め、各種の施策を推進してきました。

近年、出生数の減少や若年層を中心とした転出超過などによる少子高齢化・人口減少の加速や、大規模自然災害や鳥獣被害の頻発化、長引く物価高騰など、私たちを取り巻く社会情勢は厳しさを増しています。

このような時代の変化に対応するにあたり、町民一人一人が希望を持って挑戦し、安全・安心に暮らすことができるまちの実現に向け、第8次河北町総合計画の前期5年間の成果と課題を踏まえて取り組みを推進するため、新たに後期基本計画を策定するものです。

## 第2章 計画の位置づけと役割

第8次河北町総合計画は、町政運営において、最上位に位置づけられる計画であり、町の各行政分野における様々な計画は、本総合計画に基づき策定されることとなります。

また、町政全般にわたる行政分野を包括的に含んだ総合的な計画であり、中長期的な視点に立って、町の将来の進むべき方向性とその実現に向けた基本的な考え方を示すもので、町政運営を進めるうえでの指針となるものです。

この計画は、町民、事業者、各種団体などに対して、計画の基本方向、施策の推進について理解と協力を求め、その役割分担を明確にしたうえで、まちづくりへの積極的な参加と行動を求めるものです。さらに国・県などに対しては、将来のまちづくりに関する総意を明らかにするものとして、効果的かつ総合的に計画が推進されるよう、協力を要請するものです。

## 第3章 計画の構成と期間

### 第1節 計画の構成

計画は、「基本構想」、「基本計画」及び「実施計画」をもって構成します。

#### 1 基本構想

河北町のまちづくりのテーマ、将来像及びこれらを実現させるためのまちづくりの目標を明らかにするもので、基本計画及び実施計画の基本となるものです。

#### 2 基本計画

基本構想に掲げたまちづくりの目標を具体的に推進するための基本施策について総合的、体系的に示すものです。

#### 3 実施計画

基本計画に基づく施策を実際に推進するため、財政的な裏づけを持たせながら短期間の具体的事務事業を定めるものです。

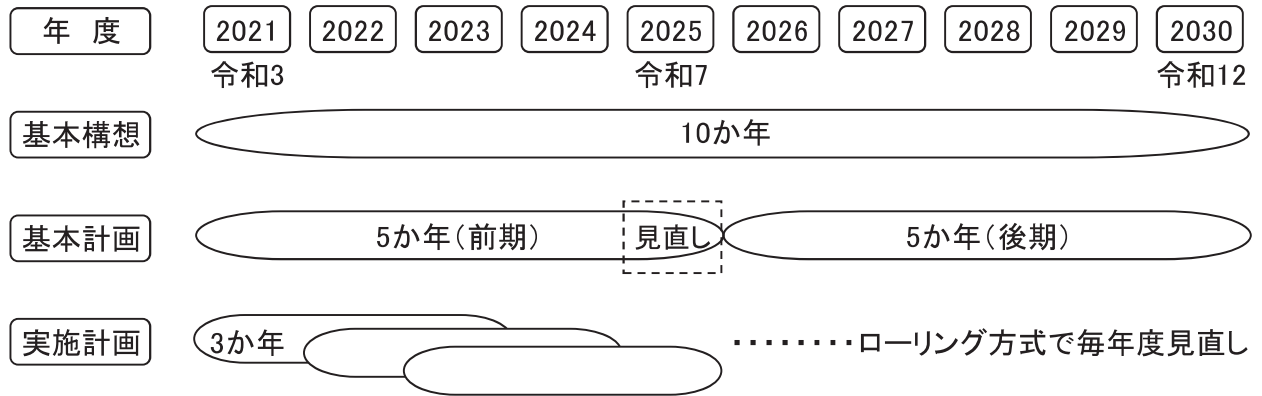
### 第2節 計画の期間

基本構想と基本計画は2021年度（令和3年度）を初年度とし、2030年度（令和12年度）を目標年度とします。2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）までを前期、2026年度（令和8年度）から2030年度（令和12年度）までを後期と位置づけます。

実施計画の期間は3か年とし、ローリング方式により毎年度見直します。

### 第3節 計画の進捗管理

計画の進捗管理について、数値目標を設定し、その達成度、成果について評価検証し、内容について必要に応じて見直します。



## 第4章 計画策定の背景と課題、基本的な考え方

### 第1節 町を取り巻く社会情勢

本町の人口は、少子高齢化の進行による自然減や若年層の転出超過に伴う社会減により加速的に減少しており、地域経済の循環や安定した財政運営をはじめ、地域医療・福祉の維持、教育・地域文化の継承、産業の競争力、地域の担い手・コミュニティの形成確保など、多様な分野で課題が生じています。

また、気候変動に伴う災害の頻発化や激甚化、有害鳥獣被害の増加など、安全・安心なまちづくりが一層求められています。加えて、コロナ禍を経て価値観や暮らし方の多様化、デジタル技術の活用による生産性・利便性の向上など、社会の急激な変化に対応できるまちづくりを進めることが不可欠です。

後期基本計画期間（令和8～12年度）においては、人口減少のペースを緩和しつつ、限られた財源や人材、資源を最大限に活かしながら、持続的に発展できるまちづくりを推進する必要があります。

### 第2節 まちづくりの課題

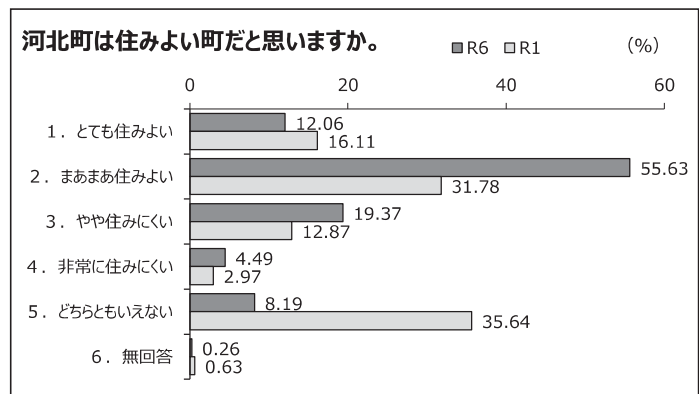
#### 1 まちづくり町民アンケート

まちづくりには、町民の意向を反映していかなければなりません。町民が感じている町の現状と課題、まちづくりに対する期待などを把握するために、2024年（令和6年）12月にまちづくり町民アンケートを実施しました。

その結果について、主なものは以下のとおりです。

#### Q. 河北町は住みよい町だと思いますか。

- ・河北町を「とても住みよい」と「まあまあ住みよい」と回答した人を合わせ、67.69%の町民が住みよいと感じているという結果になりました。
- ・5年前のアンケート結果では、住みよいと感じている方は47.89%で、前回よりも19.8%増加しています。



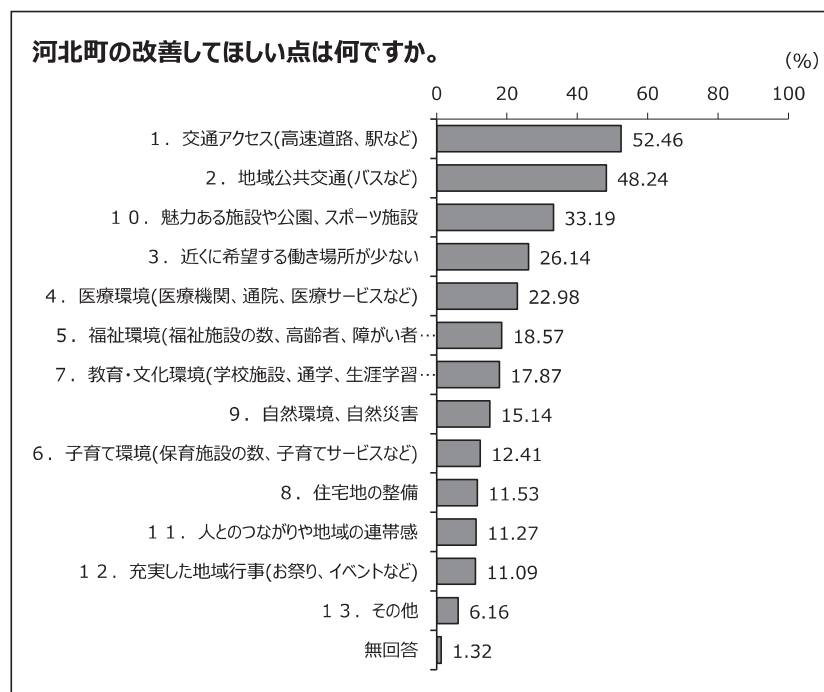
## Q. 河北町に住み続けたいと思いますか。

- 河北町に「住み続けたい」を5点、「どちらかといえば住み続けたい」を4点、「どちらとも言えない」を3点、「どちらかといえば住み続けたくない」を2点、「住み続けたくない」を1点として数値化し（5点満点）、合計値の平均点を算出したところ、「3.17」という結果になりました。
- 5年前のアンケート結果は「3.41」で、前回よりも住み続けたいと感じる人が減少しました。

今回調査		3.17	前回調査	3.41
		今回調査	前回調査	差
若年層 (10~30歳代)	男性	2.89	2.9	-0.01
	女性	2.67	2.87	-0.2
子育て世代 (30~40歳代)	男性	2.99	3.14	-0.15
	女性	2.91	3.06	-0.15
中年層 (40~50歳代)	男性	3.09	3.38	-0.29
	女性	2.89	3.04	-0.15
高齢層 (60~80歳代)	男性	3.5	3.69	-0.19
	女性	3.42	3.63	-0.21

## Q. 河北町の改善してほしい点は何ですか。（3つまで回答可）

- 今後改善してほしい点として、交通アクセス、地域公共交通、魅力ある施設や公園、スポーツ施設、希望する働き場所、医療環境という意見が多くありました。
- 5年前のアンケート結果では、保健、福祉、医療サービスの充実が最も多く、次いで地域公共交通、担い手育成が必要と答えた方が多くいました。交通に対する町民の期待が増大しており、背景には少子高齢化の影響があると推測されます。



## 2 グループインタビュー

まちづくり町民アンケートから得られる定量的な分析に加え、町の現状や将来の展望等に関する思いや考えを具体的に把握するため、属性ごとにグループ（高校生、起業・創業人材、子育て世代、移住者、町内出身の町外居住者の若者、外国人材、外国人材の雇用者）を作り、2025年（令和7年）2月にグループインタビューを実施しました。参加者から町の課題について、主に以下のような項目が挙げられました。

- ・情報発信の強化
- ・住宅、宅地の確保
- ・仕事の選択肢の充実
- ・柔軟な働き方の支援
- ・地域公共交通の改善
- ・交流の場の創出

## 3 まちづくり町民会議

計画の策定にあたり、町民及び町内事業所等に勤務する方36名で構成する第8次河北町総合計画後期基本計画策定まちづくり町民会議を設置し、5つの部会（くらし環境部会、互助共助のまちづくり部会、健康福祉子育て部会、産業振興部会、教育文化スポーツ部会）に分かれて議論を進めてきました。町民会議の各部会から町の課題について、主に以下のような項目が挙げられました。

- ・公共交通の確保
- ・ごみ削減に向けた取り組み
- ・関係人口の創出
- ・住宅環境の整備
- ・若者や女性の定住、地元回帰
- ・町のブランディング
- ・在住外国人との交流促進
- ・将来を見据えた小中学校の計画的整備
- ・空き校舎の利活用
- ・財源の確保
- ・子育て世帯への経済的支援
- ・働きやすい環境整備
- ・高齢者の居場所づくり
- ・豪雨災害や異常気象への対応
- ・有害鳥獣への対応
- ・遊休農地の解消、担い手確保
- ・動物園リニューアルを契機とした誘客促進
- ・紅花活用
- ・地域資源の強みを活かしたPR
- ・部活動の地域展開

### 第3節 重点取り組み施策の設定

人口減少が進む中、限られた資源を活用して多様な課題に対応するには、課題を明確化して適切に対応する必要があります。

このため、今後5年間で特に重点的な対応が必要な課題を「重点取り組み施策」として以下のとおり設定し、持続的に発展できるまちづくりに取り組んでまいります。

地域公共交通  
の再構築

関係人口の  
拡大・創出

切れ目ない  
子育て支援

担い手の  
確保・育成

にぎわいづくり

将来を見据えた  
学校整備

